

## 結果の要約

### 1 職業

新潟県の15歳以上就業者数(1,225,575人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が410,824人(15歳以上就業者数の33.5%)と最も多く、次いで「事務従事者」が206,195人(同16.8%)、「販売従事者」が159,281人(同13.0%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が12,671人(11.9%)増、「保安職業従事者」が1,527人(9.3%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が5,806人(17.5%)減、「運輸・通信従事者」が4,305人(9.1%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が37.0%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が30.8%、「販売・サービス関係職業」が24.2%、「農林漁業関係職業」が7.3%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ1.2ポイント、0.2ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ1.4ポイント、0.3ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」  
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」  
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」  
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業」

### 2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.5時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が47.3時間と最も長く、次いで「管理的職業従事者」が44.3時間、「販売従事者」が43.9時間などとなっている。平成12年と比べると、「農林漁業作業」が1.7時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が1.7時間減、「販売従事者」が1.6時間減などとなっている。

### 3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が318,325組(夫婦数622,392組の51.1%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が152,855組(同24.6%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が47,761組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の15.0%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業」、妻が「事務従事者」である夫婦が29,717組(同9.3%)などとなっている。

### 4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は230,619世帯(住宅に住む一般世帯803,718世帯の28.7%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は573,099世帯(同71.3%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が230,476世帯(同28.7%)、「女性のみ」の世帯が84,813世帯(同10.6%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が50,468世帯(同6.3%)となっている。

図1 新潟県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

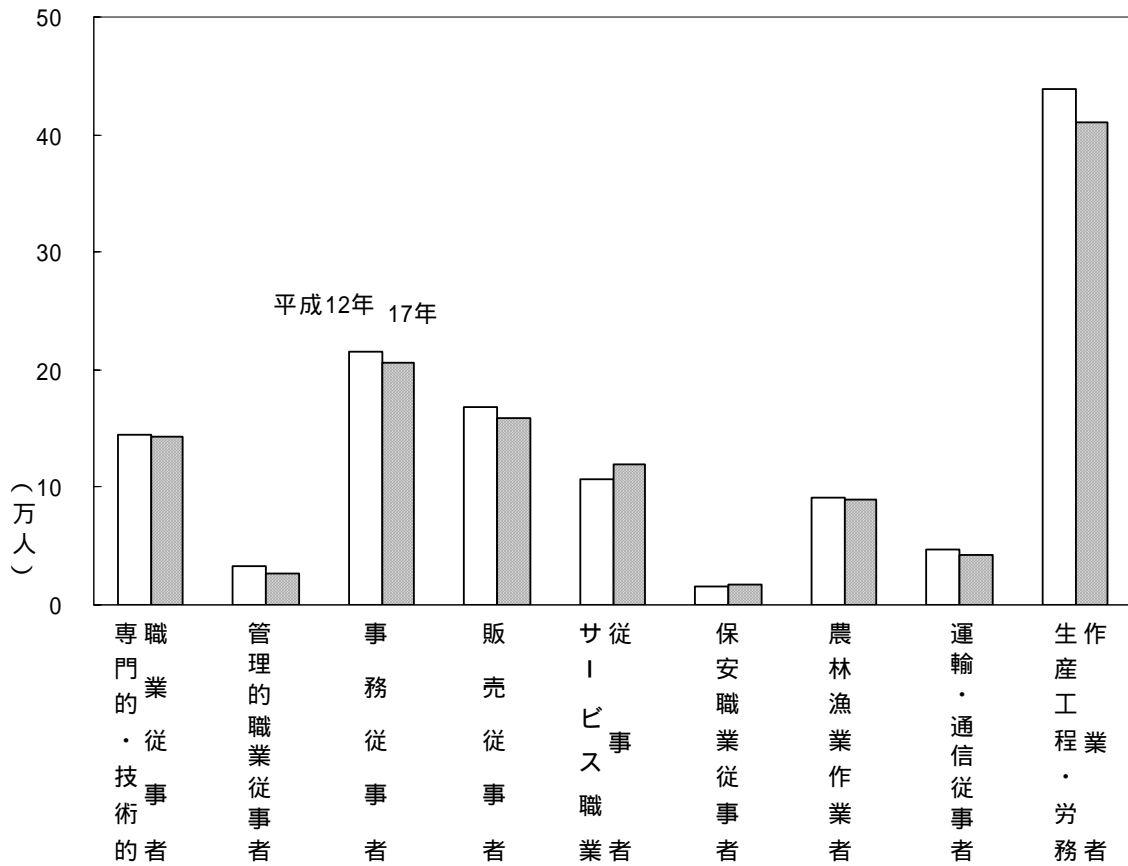


図2 新潟県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

